

芦屋町職員の 給与・定員管理の状況を 公表します

令和4年度決算統計調査と令和5年給与実態調査・定員管理調査(4月1日)の資料に基づき、芦屋町職員の給与と定員管理などの状況を公表します。詳しくは町のホームページで4月末までに公開する予定です。
▷問い合わせ 人事係 (☎223-3574)

1. 総括 (普通会計決算)

①人件費の状況 (令和4年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (令和5年1月1日)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	前年度の 人件費率
1万3145人	96億1839万円	13億2844万円	13.8%	13.7%

※普通会計とは、一般会計と給食センター特別会計のことです。

※人件費には、特別職の給与や報酬、一般職の給料や諸手当のほか
に共済組合負担金などが含まれます。

②職員給与費の状況 (令和4年度普通会計決算)

職員数 (A)	給与費				1人当たり 給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
147人	5億2746万円	9859万円	1億8278万円	8億883万円	551万円

2. 平均給与月額状況 (令和4年4月1日現在)

区分	一般行政職			
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
芦屋町	41.0歳	299,500円	360,219円	324,163円
国	42.7歳	323,711円	-	405,049円

※平均給与月額とは、給料月額(基本給)と扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を平均したもので、平均給与月額(国ベース)とは、国家公務員と同基準(時間外勤務手当などは含まない)で額を平均したものです。

3. 初任給の状況 (令和5年4月1日現在)

区分	一般行政職		技能労務職
	大学卒	高校卒	高校卒
芦屋町	185,200円	158,900円	151,900円
国	185,200円	154,600円	-

4. 手当の状況

①期末手当・勤勉手当 (令和4年度支給割合)

支給割合		役職加算
期末手当	勤勉手当	
2.40月	1.90月	5~15%

②退職手当 (令和5年4月1日現在)

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高 限度額	1人当たりの 平均支給額
自己都合	19.67月分	28.04月分	39.76月分	47.71月分	10万円
勤奨・定年	24.59月分	33.27月分	47.71月分	47.71月分	1839万円

※1人当たりの平均支給額は、令和4年度に退職した職員に支給された平均額です。

③その他の手当 (令和5年4月1日現在)

手当名	内容と支給単価	1人当たりの 平均支給年額 (令和4年度決算)
地域手当	(給料+扶養手当+管理職手当) ×支給割合(芦屋町:0%、福岡市:10%、大野城市:6%)	302,025円
特殊勤務手当	徴税特殊勤務手当、 競艇場特殊勤務手当など	203,367円
扶養手当	子 10,000円 子以外 6,500円	233,488円
住居手当	借家 上限28,000円	245,114円
通勤手当	公共交通機関 上限55,000円 自家用車など(2km以上) 2,000円~24,400円	62,989円
管理職手当	49,600円~72,700円	777,020円
時間外手当	正規の勤務時間外の勤務	351,330円

5. 特別職の報酬などの状況 (令和5年4月1日現在)

区分	給料	退職手当	期末手当
町長	744,000円	給料月額× 在職年数×450/100	6月期1.475月 12月期1.475月 (特別職加算20%)
副町長	621,000円	給料月額× 在職年数×300/100	
教育長	581,000円	給料月額× 在職年数×240/100	
事業管理者	562,000円	給料月額× 在職年数×240/100	

区分	報酬	退職手当	期末手当
議長	345,000円	該当なし	6月期1.40月 12月期1.40月 (特別職加算20%)
副議長	318,000円		
議員	298,000円		

6. 職員数の状況 (各年4月1日現在)

部門	区分	職員数(人)		対前年 増減数 (人)	
		令和4年	令和5年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	3	3	-
		総務・企画	51	51	-
		税務	11	13	2
		民生	25	25	-
		衛生	12	12	-
		農林水産	5	5	-
		商工	5	5	-
		土木	14	14	-
	計	126	128	2	
	教育部門	17	19	2	
小計	143	147	4		
会計企業等部門	下水道	4	4	-	
	ボートレース	22	21	△1	
	その他	5	5	-	
	小計	31	30	△1	
合計		174	177	3	

※職員数は一般職に属する職員数で、退職者、育児休業者、派遣職員を含みます。

ミシンと洋服 温かさと思い出⑤

●ミシン事始め

安政元（1854）年、アメリカのペリー提督が、第13代将軍徳川家定へ献上し、夫人の敬子（篤姫）が使用したミシンが、日本に初めて来たミシンのようです。民間では、ジョン万次郎が母親のために購入したのが、ミシン使用の初めとされています。



シンガー社のミシン
エンブレム

明治時代になると、軍服や貴婦人のドレスを製造するためにミシンが普及し始めました。ミシン普及の初期は海外製のミシン（特にシンガー社）が主流でしたが、徐々に国内生産が始まります。

大正時代に入ると、大正10（1921）年にパイン裁縫機械製作所（現、株式会社

社ジャノメ）が

ミシンの国産第

1号機を製品

化。上糸と下糸



株式会社ジャノメのミシン
エンブレム

する「小型手廻

しミシン」の量

産が始まりました。しかし、そ

の当時の国産ミ

シンの品質は決して良いものと



小型手廻しミシン

は言えませんでした。

昭和時代に入ると、より品質の高いミシンの製造を目指して、昭和3

（1928）年にブラザー工業創業者の安井兄弟によって、「昭三式ミ

シン」が販売されます。麦わら帽子の縫製用昭三式ミシンは、海外製ミ

シンに負けない耐久性を持ち、利用者から高い評価を得ました。

●戦後に高まるミシン需要

家庭用ミシンが徐々に普及する中、第二次世界大戦の開始とともに

家庭用ミシンの製造は禁止され、軍用ミシンのみが製造されるようにな

りました。しかし、終戦を迎えると、機能的な洋服を手作りする人や

洋裁を仕事にしたい人が増加。それとともに、ミシンの需要が増大しま

す。昭和22（1947）年には「ミシン製造会」が発足され、国産家庭

用ミシンの規格寸法が初めて統一

されました。規格に基づいた国産家庭用ミシン「家庭用H・A・1型」が、昭和23（1948）年に製造されました。

その後、国産ミシンは海外へ輸出されるようになり、1950年代には、国産ミシンの輸出割合は50%を超えるまでになりました。

1960年代までは足踏み式ミシンが主流でしたが、昭和39（1964）年の東京オリンピック開催を記念して、ジャノメが完全自動機構を備えたミシンを発売。重量も従来の半分の軽さになり、好評となりました。1970年代に入ると、ミシンを嫁入り道具として持つ人も多

くなり、婚姻件数とミシンの生産台数はほぼ同じだったといわれるほどでした。

昭和54（1979）年には日本初のコンピュータミシンが登場し、針の動きやさまざまな模様縫いが

コンピュータ制御によって可能に。現在では、「自動糸調子ミシン」や「刺繍機能付きミシン」などの高機能ミシンが登場し、趣味や販売用の

作品づくりなど、家庭で幅広い用途に使用されています。

（芦屋歴史の里）

編集後記

▼この号が発行されている頃まで咲いているかわかりませんが、2月は波懸大橋の山鹿側の麓に梅が咲いています。せわしく生活していると通り過ぎてしまいがちですが、ちよっとだけ立ち止まると季節を感じる事ができます。今年も写真を撮りに行きたいと思います。（那木）

▼9ページ「すぐすぐ育てあしやっ子」今回のテーマは、子どものインターネット利用です。親に似たのか、息子もタブレットで遊ぶのが大好き。まだ4歳なのに、あれこれ心配しています。どうせ見るなら勉強になるものがあるので、電子図書館講習会の取材で教えてもらった、絵本の読み聞かせ機能を使ってみようと思います。芦屋町に住んでいて図書館の利用者カードを持っている人は、

手続きなしで遠賀郡広域電子図書館を利用できますよ。（野中）

▼あらためて、二十歳になられた皆さんおめでとうございました。また、紙面の撮影に協力していただいた皆さん、ありがとうございます。私が二十歳の時は、北海道の大学から地元の栃木に1日かけて帰り、式に参加したのを覚えています。久しぶりに再会した仲間との喜びは今でも忘れません。輝かしい未来へ進んでいく皆さんの今後の活躍を願っています。（手塚）

